

剣道部

己に克ちて礼に復るを仁と為す 【克己復礼為仁】

論語(顔淵)

剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節をとうとび、信義を重んじ誠を尽して、常に自己の修養に努め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。

昭和 50 年 3 月 20 日制定 財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修練を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成 19 年 3 月 14 日制定 財団法人全日本剣道連盟

部員数

1 年	2 年	3 年	合計
1 名	2 名	3 名	6 名

基本技稽古法

基本 1	一本打ちの技	「正面」「小手」「胴(右同)」「突き」
" 2	二・三段の技(連続技)	「小手→面」
" 3	払い技	「払い面(表)」
" 4	引き技	「引き胴(右胴)」
" 5	抜き技	「抜き胴(右胴)」
" 6	すり上げ技	「小手すり上げ面(裏)」
" 7	出ばな技	「出ばな小手」
" 8	返し技	「面返し胴(右胴)」
" 9	打ち落とし技	「胴(右胴)打ち落とし面」